

平成 22年 6月 3日～ 7月 20日 横浜市立あざみ野第二小学校での取り組みです



6/3堆肥講座 父母も 20人参加



取組 スタート:4人で 1個のダンボールを担当。26個廊下に並べ準備OK



先生より:コンポストから温泉のように湯気が出たグループもあり みんなで「あったかーい。」と感動、いっぱい感動できることがあり、子どもってすばらしいですね。毎日が感動です。



6/4～ 7/2 : 毎朝 温度を測り 家庭から持参した生ごみを計量してダンボールに入れ、よくかき混ぜます。



7/3～ 7/20(熟成期間) : 生ごみ投入はせずに、毎日かき混ぜて観察します。できた堆肥の半分は夏休みに各家庭で使用し、半分は秋に学校花壇で使う予定。

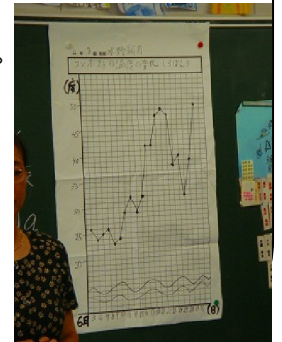
こどもたちの感想：まとめの授業で

ダンボールコンポストを实践して、感じたこと。

- どんなに入れても、ごみがいっぱいにならないので、ごみを減らせると思った。
- 初めは 25度だったのが、今は 49度まで温度が上がってビックリした。
- 白カビがいっぱいはえて、うれしかった。
- 白カビが多いときは温度も高いと思った。
- 白カビを手でさわったら、べたべたしてしめっとしていた。
- 最初臭いがきつかったが、今は臭いが消えてしなくなった。
- 最初は嫌だったけど、だんだん慣れてきて、今は平気。
- 最初のころは、廊下にいたくなかったけど...
- グレープフルーツの皮が 2～ 3日で微生物の働きで消えてしまった。
- 温度が上がって嬉しかった。
- 初めと色がちがうし、湿り気がある。

できた堆肥をどうしたいですか？

- 野菜を育てたい。
- ミトマトを育てたい。
- かぼちゃを育てたい。
- 育てた野菜と買ってきたものと食べ比べてみたい。



家庭からのメッセージ

- 魚の骨と頭がいい!! というので週末は大きい干物や舌平目など...。たくさん生ごみを持って行くことができました。
- 「コンポストに湯気が出て来たよ。」ととっても喜んでいました。朝入れたスイカがあっという間になくなっちゃたんだヨ」と毎日色々な発見があるようで楽しそうです。
- コンポストの様子はとても気になるようで「うちの班が一番すすんでるかも!」ゆびを入れられないくらい、あつくなっている!」と教えてくれました。コンポストのお陰で、家でも会話がはずみました。

環境を考え行動する会 川崎市麻生区

限りある資源を浪費することなく、次の世代に少しでもよりよい環境を残せたらと、2007年 8月に発足しました。小さくても、できることから行動しようと、2年前より「ダンボールコンポストで生ごみリサイクル」の普及活動を行っています。毎日家庭から出る生ごみを削減して、堆肥として土に還す。」という昔ながらの「循環の輪」を体験でき、面白い、楽しいと好評で、私達が広めた実践者は 650名を越えました。町の花壇に生ごみ堆肥を入れ、その旨 プレ- 捲立ててPRしています。

コンポストよろず相談会 第1、第3火曜日 午前10時～12時 於天野宅車庫 実践者フォローやレスキューも実施